

# 横浜市感染症発生動向調査報告（令和4年9月）

## 《今月のトピックス》

- 腸管出血性大腸菌感染症が増加しています。
- 梅毒や性器クラミジア感染症など、性感染症が高い水準で続いています。
- 新型コロナウイルス感染症は第31週の報告数39,708件をピークに減少傾向にありますが、小児を含めた幅広い年齢層での感染がみられます。

### ◇ 全数把握の対象

＜9月期に報告された全数把握疾患＞

腸管出血性大腸菌感染症	21件	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	8件
パラチフス	1件	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4件
E型肝炎	2件	後天性免疫不全症候群(HIV感染症含む)	3件
デング熱	1件	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1件
レジオネラ症	8件	侵襲性肺炎球菌感染症	3件
アメーバ赤痢	2件	梅毒	21件
ウイルス性肝炎	2件	播種性クリプトコックス症	1件

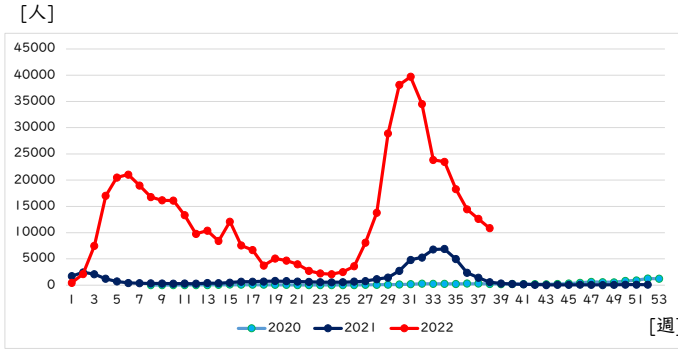
- 1 **腸管出血性大腸菌感染症**:10歳未満～80歳代で、O157が13件、O26が5件、O111が2件、O不明が1件報告されました。10件は経口感染、11件は感染経路等不明でした。
- 2 **パラチフス**:20歳代で、海外での経口感染と推定されています。
- 3 **E型肝炎**:40歳代および50歳代で、いずれも感染経路等不明です。
- 4 **デング熱**:10歳代で、海外での蚊からの感染が推定されています。
- 5 **レジオネラ症**:40歳代～60歳代で、水系感染と推測される報告が4件、水系感染または塵埃感染と推測される報告が1件、感染経路等不明の報告が3件ありました。
- 6 **アメーバ赤痢**:20歳代および40歳代で、いずれも性的接触による感染と推定されています。
- 7 **ウイルス性肝炎**:B型肝炎(20歳代および50歳代)の報告が2件ありました。いずれも性的接触による感染と推定されています。
- 8 **カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症**:40歳代～80歳代で、感染経路等不明の報告が8件ありました。
- 9 **劇症型溶血性レンサ球菌感染症**:50歳代～60歳代で、A群が3件、G群が1件報告されました。2件は創傷感染が推定され、2件は感染経路等不明でした。
- 10 **後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む)**:40歳代～50歳代で、AIDSの報告が2件、無症状病原体保有者が1件報告されました。性的接触(同性間3件)による感染と推定されています。
- 11 **侵襲性インフルエンザ菌感染症**:60歳代(ワクチン接種歴不明)の報告が1件ありました。感染経路等は不明です。
- 12 **侵襲性肺炎球菌感染症**:40歳代～90歳代(ワクチン接種歴無1件、接種歴不明2件)の報告が3件ありました。1件は飛沫・飛沫核感染と推定され、2件は感染経路等不明です。
- 13 **梅毒**:10歳代～60歳代で、早期顕症梅毒Ⅰ期11件、早期顕症梅毒Ⅱ期5件、晩期顕症梅毒1件、無症状病原体保有者4件の報告がありました。性的接触による感染と推定される報告が21件(異性間17件、同性間1件、異性および同性1件、詳細不明2件)でした。
- 14 **播種性クリプトコックス症**:80歳代で、感染経路等不明です。

### ◇ 新型コロナウイルス感染症(報道発表ベース)

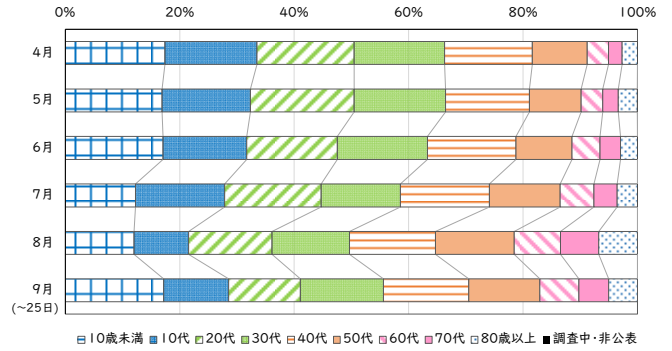
第34週～第38週に横浜市から報道発表がありました症例は79,704件でした。

◆横浜市 新型コロナウイルス感染症関連データ <https://data.city.yokohama.lg.jp/covid19/>

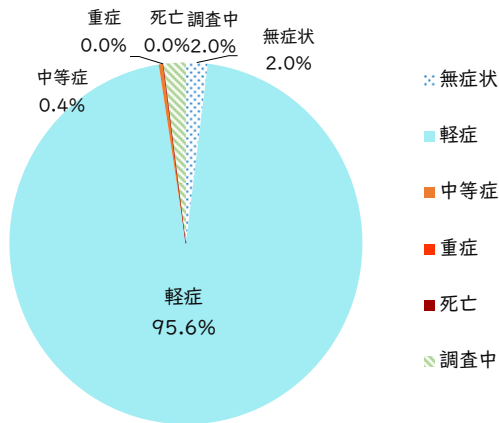
### 1 報告数の推移



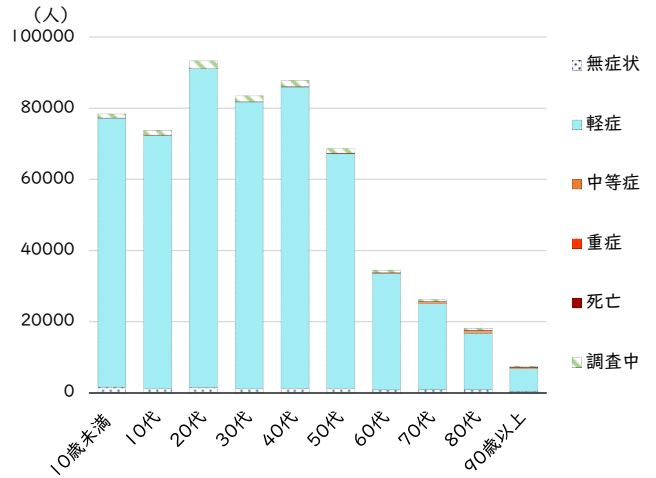
### 2 年齢層別患者割合



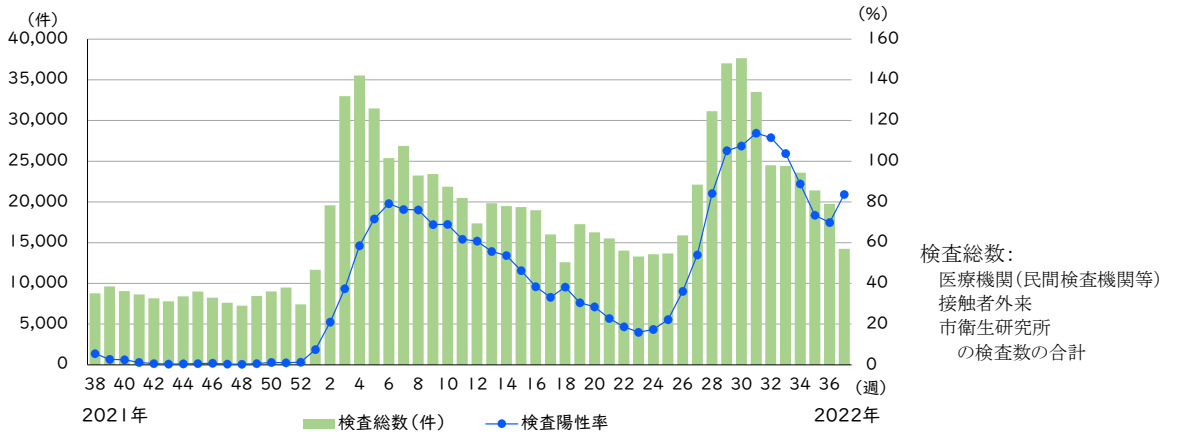
### 3 陽性確定時の症状の割合(2022年第38週まで)



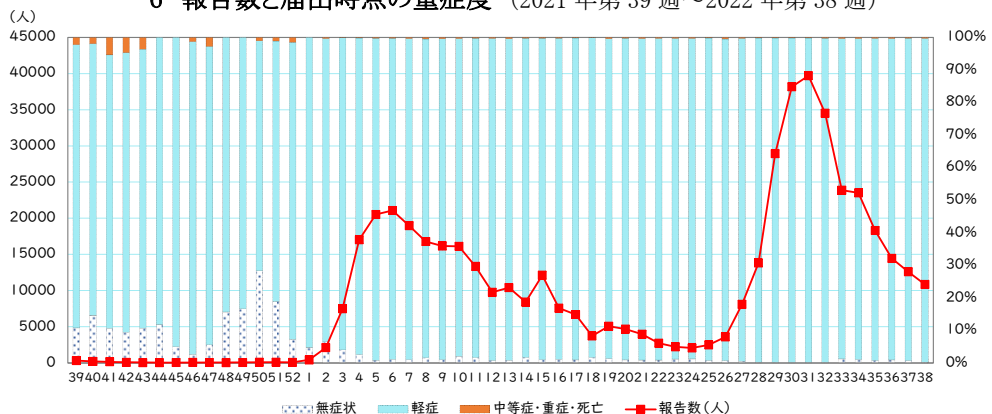
### 4 陽性確定時の症状別人数(年代別) (2022年第38週まで)



### 5 市内における新型コロナウイルス検査実施状況 (2021年第38週~2022年第37週)



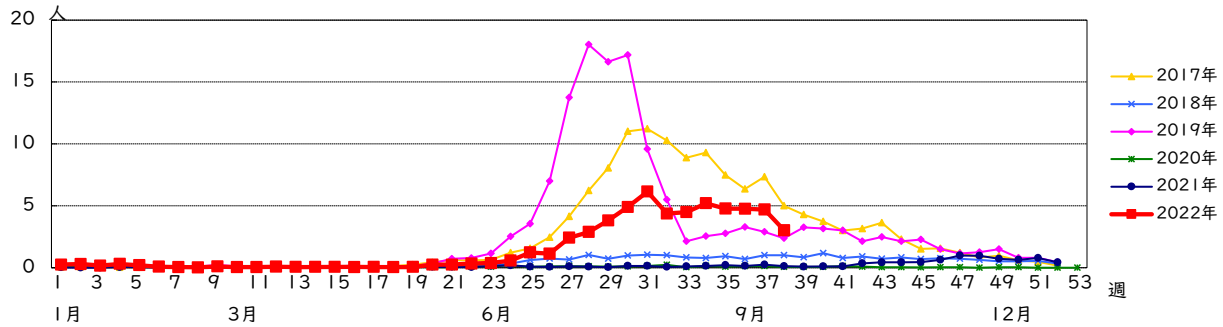
### 6 報告数と届出時点の重症度 (2021年第39週~2022年第38週)



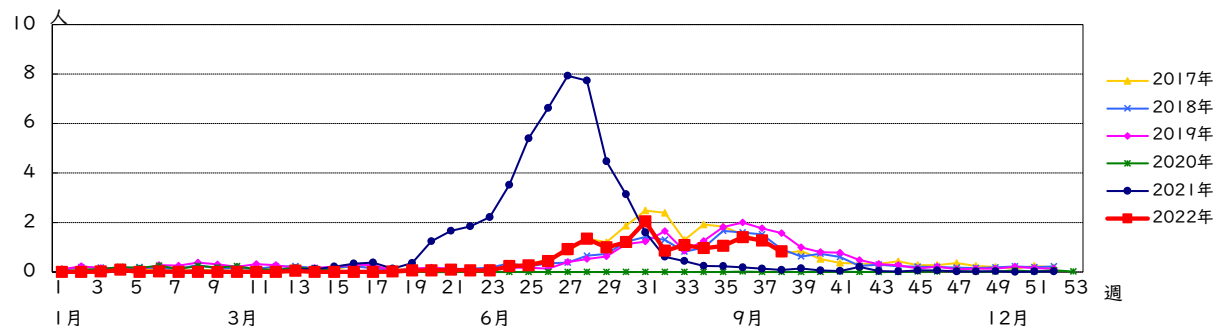
◇ 定点把握の対象

報告週対応表	
第34週	8月22日～8月28日
第35週	8月29日～9月4日
第36週	9月5日～9月11日
第37週	9月12日～9月18日
第38週	9月19日～9月25日

1 手足口病：第20週以降増加が続き、第31週は6.14で、流行警報発令基準値5.00を上回りました。第34週5.19、第35週4.76、第36週4.76、第37週4.68、第38週3.01と、市内での流行は続いています。



2 RSウイルス：第24週以降増加が続き、第31週に2.03でピークを迎えましたが、第34週0.95、第35週1.05、第36週1.40、第37週1.27、第38週0.82と高めで推移しています。



3 性感染症(8月)

性器クラミジア感染症	男性:42件	女性:17件	性器ヘルペスウイルス感染症	男性:7件	女性:3件
尖圭コンジローマ	男性:12件	女性:6件	淋菌感染症	男性:19件	女性:5件

4 基幹定点週報

	第34週	第35週	第36週	第37週	第38週
細菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
無菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
マイコプラズマ肺炎	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

5 基幹定点月報(8月)

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	1件	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	0件
薬剤耐性緑膿菌感染症	0件	-	-

【 感染症・疫学情報課 】

## ◇ 病原体定点からの情報

市内の病原体定点は、小児科定点:8か所、インフルエンザ(内科)定点:4か所、眼科定点:1か所、基幹(病院)定点:4か所の計17か所を設定しています。

検体採取は、小児科定点とインフルエンザ定点では定期的に行っており、小児科定点は8か所を2グループに分けて毎週1グループで実施しています。

眼科と基幹定点では、検体採取は対象疾患の患者から検体を採取できたときのみ行っています。

## 〈ウイルス検査〉

9月期(2022年第34週～第38週)に病原体定点から搬入された検体は、小児科定点29件、眼科定点3件、定点外医療機関からは3件でした。

10月11日現在、ウイルス分離2株と各種ウイルス遺伝子29件が検出されています。

表 感染症発生動向調査におけるウイルス検査結果(2022年第34週～第38週)

主な臨床症状 分離・検出ウイルス	上気道炎	下気道炎	手足口病	口内炎
RSウイルスサブグループA	1	6		
RSウイルスサブグループB		1		
コクサッキーウイルスA6型	3		3	
ヒトメタニューモウイルス	1	6		
ヒトパレコウイルス1型	2	1		
ライノウイルス	2			
ヒトパラインフルエンザウイルス1型	1			
ヒトパラインフルエンザウイルス4型		1		
ヒトボカウイルス		1		
単純ヘルペスウイルス1型				1
合計	10	16	3	1

上段:ウイルス分離数 下段:遺伝子検出数

【 微生物検査研究課 ウイルス担当 】

## 〈細菌検査〉

9月期(2022年第34週～第38週)の「菌株同定」の検査依頼は、基幹定点からサルモネラ属菌2件でした。非定点からの依頼は、グラム陰性らせん状桿菌1件でした。保健所からの依頼は、腸管出血性大腸菌17件、パラチフスA菌1件、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌12件、劇症型溶血レンサ球菌6件、侵襲性肺炎球菌2件、侵襲性インフルエンザ菌1件、レジオネラ属菌1件でした。

「分離同定」の検査依頼は、非定点から抗酸菌遺伝子1件、保健所からレジオネラ属菌4件でした。

「小児サーベイランス」の検査依頼はありませんでした。

表 感染症発生動向調査における病原体調査 (2022年第34週～第38週)

菌株同定		項目	検体数	血清型等
医療機関	基幹定点	サルモネラ属菌	2	<i>Salmonella</i> O4群 (1)、 <i>Salmonella</i> Fluntern (1)
	非定点	グラム陰性らせん状桿菌	1	<i>Brachyspira aalborgi</i> (1)
保健所		腸管出血性大腸菌	17	O157 : H7 VT1 VT2 (8)、O157 : H7 VT2 (3)、 O26 : H11 VT1 (4)、O111 : H- VT1 VT2 (1)、 O8 : Hg9 VT2 (1)
		パラチフス A 菌	1	<i>Salmonella</i> Paratyphi A (1)
		カルバペネム耐性腸内細菌科細菌	12	<i>Klebsiella aerogenes</i> (5)、 <i>Enterobacter cloacae</i> complex (3)、 <i>Klebsiella oxytoca</i> (2)、 <i>Escherichia coli</i> (1)、 <i>Serratia marcescens</i> (1)
		劇症型溶血性レンサ球菌	6	A群溶血性レンサ球菌 T13 (1)、 A群溶血性レンサ球菌 TUT (4)、 G群溶血性レンサ球菌 (1)
		侵襲性肺炎球菌	2	<i>Streptococcus pneumoniae</i> 19型 (1)、 <i>Streptococcus pneumoniae</i> UT (1)
		侵襲性インフルエンザ菌	1	<i>Haemophilus influenzae</i> UT (1)
		レジオネラ属菌	1	<i>Legionella pneumophila</i> SG1 (1)
分離同定	材料	項目	検体数	同定、血清型等
医療機関	非定点 皮膚内閉鎖膿	抗酸菌遺伝子	1	<i>Mycobacterium ulcerans</i> PCR 陰性 (1) <i>Mycobacterium</i> 属 16SrRNA 検出
保健所	喀痰	レジオネラ属菌	4	<i>Legionella pneumophila</i> SG1 (2)、培養陰性 (2)

【 微生物検査研究課 細菌担当 】